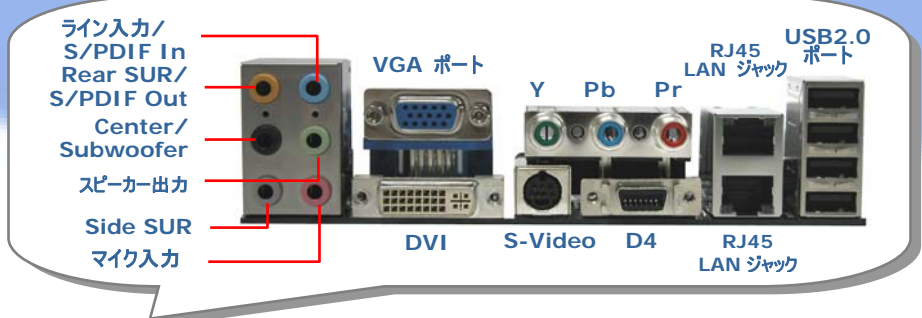
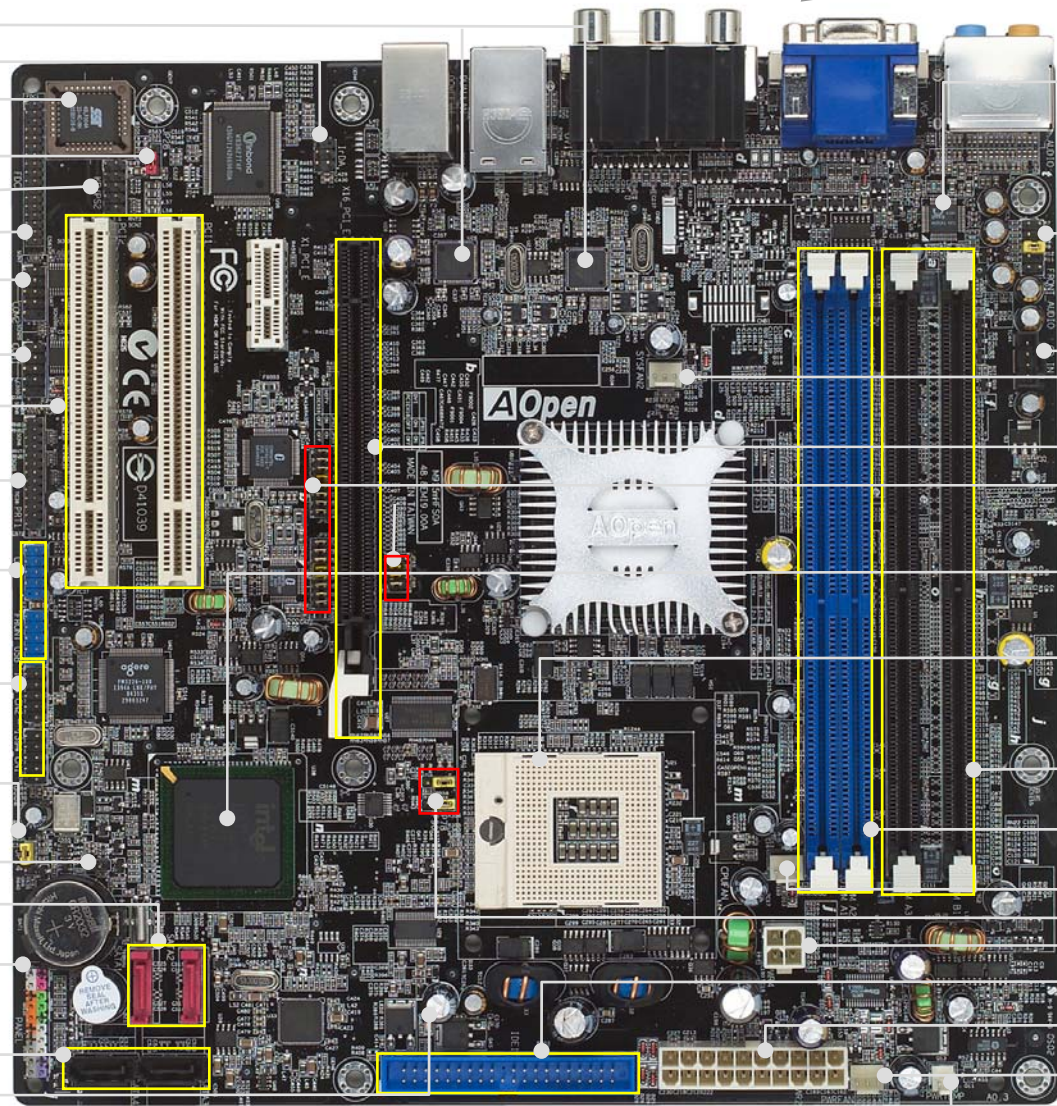


i915GMm-HFS



- デュアル Marvell Gigabit LAN チップ
- IrDA コネクタ
- DieHard BIOS Lite
- JP28 PS2 キーボード/マウスウェイクアップジャンパ
- PS2 KB コネクタ
- FDD コネクタ
- COM2 コネクタ
- COM1 コネクタ
- 32 ビット PCI 拡張スロット x2
- Parallel コネクタ
- USB 2.0 コネクタ x 2
- IEEE 1394 コネクタ x 2
- JP14 CMOS データクリア用ジャンパ
- ケース解放センサコネクタ
- Serial ATA ポート x2 個で転送速度 150 MB/s をサポート
- フロントパネルコネクタ
- Serial ATAII ポート x2 個で転送速度 300 MB/s をサポート (RAID 0, 1 サポート)
- STBY LED



- オンボード AC'97 CODEC
- フロントオーディオコネクタ
- CD_IN コネクタ
- SYSFAN2 コネクタ
- PClex16 拡張スロット
- PCIe*16 シグナルコントロールジャンパー
- Intel® 915GM/ICH6-Mチップセットは 533 MHz FSB, DDR 333, DDR2 400/533 Dual ChannelおよびPCIe x16 対応
- 479 ピンCPUソケット、電圧/クロック自動検出機能付きでIntel® Pentium® M (DothanおよびBanias)および Celeron® M CPUをサポート
- 240 ピンDIMMx2は DDRII400/DDRII533 Dual Channelを最大 2GB 搭載可能
- 184 ピンDIMMx2は DDR333 を最大 2GB 搭載可能
- CPUFAN コネクタ
- FSB コントロールジャンパー
- 4 ピン 12V ATX 電源コネクタ
- IDE コネクタ x 1 (ATA 33/66/100 対応)
- ATX 電源コネクタ
- PWRFAN コネクタ
- 電源温度センサコネクタ

AOpen は製品仕様および本出版物の記載事項について、将来予告なしに変更する権利を有します。

インストールの準備

DIYでインストール

当マザーボードをインストールするのに必要な情報は全て、このイーージーインストールガイドに載せられています。さらに詳細な内容についてはオンラインユーザーズマニュアルがボーナスパックCDに収録されています。地球環境保護へのご協力に感謝いたします。

付属品チェックリスト

- イーージーインストールガイド x 1 式
- フルカラーイラストマニュアル x 1 式
- 80 芯線 IDE ケーブル x 1 本
- フロッピードライブケーブル x 1 本
- Serial ATA ケーブル x 2 本
- Serial ATA 電源ケーブル x 2 本
- S/PDIF Converter x 2 本
- 後部パネル I/O シールド x 1 式
- ボーナスポック CD x 1 枚
- CPU クーラー x 1 式
- PS2 Connector x 1 本 + Bracket x 2 本 (MTX+ATX)

1. CPUをインストール



12. ドライバとユーティリティをインストール



2. CPUファンとシステムファンのインストール



11. OSをインストール (例: Windows XP)



3. メモリモジュールをインストール



10. BIOSデフォルト設定をロードし、CPUクロックを設定



4. HD, CD-ROM と SATAディスク他をインストール



9. 後部パネルポート



5. 前部パネルケーブルを接続



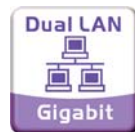
8. 他のデバイス(USB, フロントオーディオ等)をインストール



6. ATX電源ケーブルをインストール



7. PCI Express x16 グラフィックスカード、PCI Express x 1 カード、PCI カードをインストール

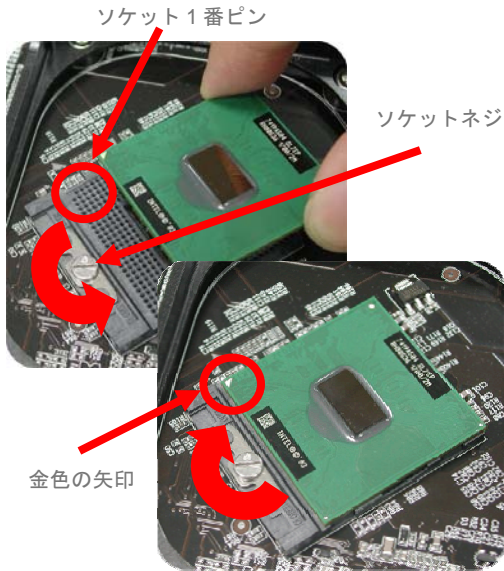


PART NO: 49.8EMOB.JE1

DOC. NOE: I915GMMHFS-EG-J0501A

1. CPU のインストール

当ソケットは Intel の最新開発である uFCPGA & uFCBGA パッケージ CPU 対応です。これ以外の CPU パッケージは適合しません。

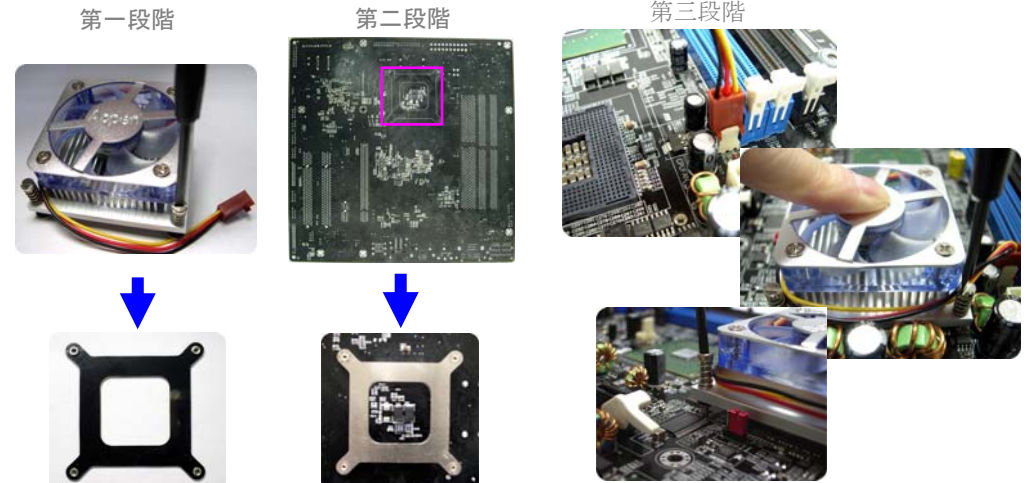


1. ソケットネジを反時計回りにゆるめます。
2. ソケットの 1 番ピンを確かめ、CPU 上部の金色の矢印を確認します。1 番ピンと矢印を合わせます。これで CPU をソケットに挿します。
3. CPU ソケットネジを時計回りに締めて CPU を固定します。

メモ: CPUソケット1番ピンとCPUの金色の矢印が合っていないと、CPUが損傷するおそれがあります。

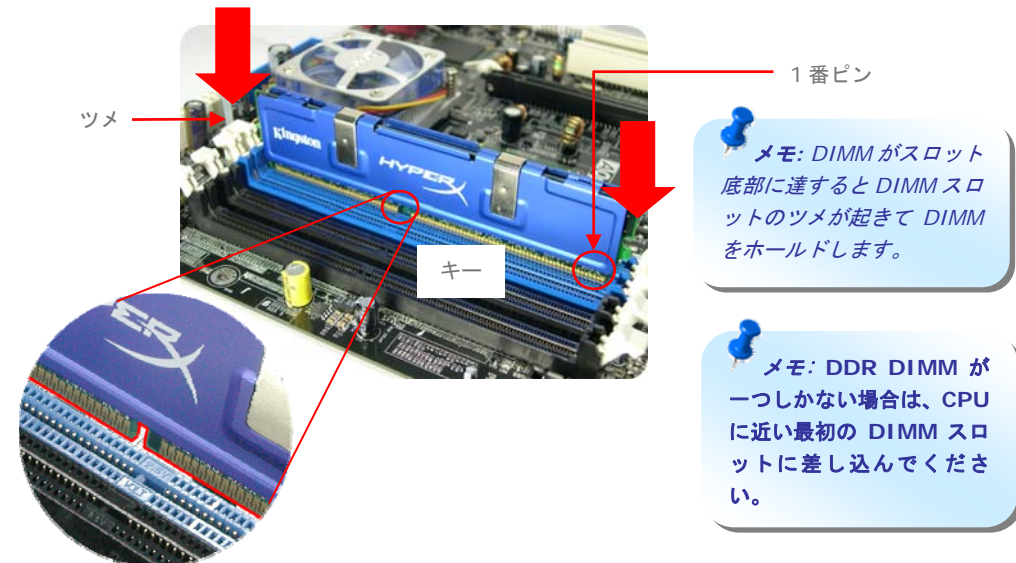
3. AOpen CPU ファンクーラーのインストール

付属している CPU ファンには固定金具があらかじめ取り付けられています。マイナスドライバーで左回りで4本のねじを緩めると、固定金具が取り外せます。固定金具には黒いシートが貼り付けてありますが絶縁体ですのではがさないようにしてください。固定金具をマザーボードのCPU位置の裏側にあてがいます。CPUをセットし、マイナスドライバーでCPUをソケットに固定します。CPUの上にCPUファンを乗せ、4つのねじ位置を確かめた上で、ねじを右回りに締めて固定していきます。



4. メモリモジュールのインストール

DIMM スロットは黒色で容易に判別できます。モジュールを両手で DIMM スロットにまっすぐ静かに、きちんと止まるまで挿します。

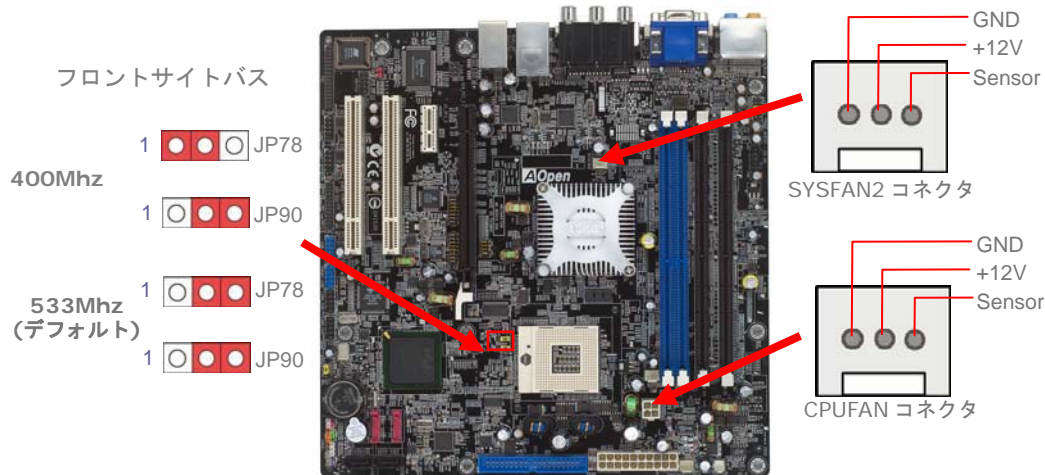


メモ: DIMMがスロット底部に達するとDIMMスロットのツメが起きてDIMMをホールドします。

メモ: DDR DIMMが一つしかない場合は、CPUに近い最初のDIMMスロットに差し込んでください。

2. ジャンパーでFSBを調整します

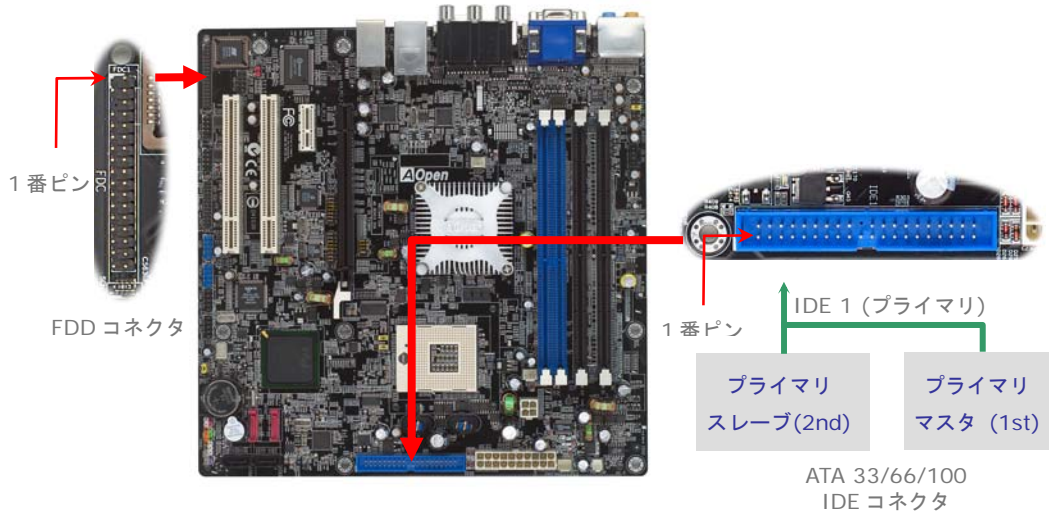
ジャンパーでFSBを設定できます。



メモ: CPUファンによってはセンサピンのないものもあります。この場合ファンのモニタ機能は使用できません。

5. IDE およびフロッピーのケーブルの接続

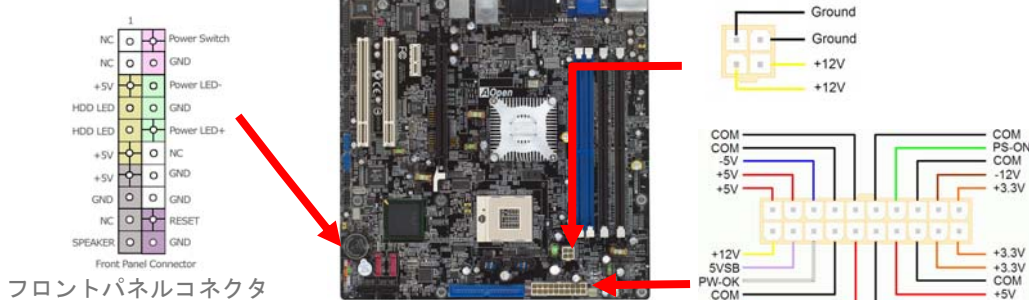
34 ピンフロッピーケーブルおよび 40 ピン, 80 芯線 IDE ケーブルをフロッピーコネクタ FDD および IDE コネクタに接続します。1 番ピンの向きにご注意ください。向きを間違えるとシステムの故障の原因となります。



6. フロントパネルケーブルの接続 and ATX 電源ケーブルの接続

電源 LED、スピーカー、リセットスイッチのコネクタをそれぞれ対応するピンに差します。BIOS セットアップで“Suspend Mode”の項目をオンにした場合は、ACPI および電源の LED がサスペンドモード中に点滅します。

お持ちの ATX の筐体で電源スイッチのケーブルを確認します。これは前部パネルから出ている 2-ピンメスコネクタです。このコネクタを SPWR と記号の付いたソフトウェア電源スイッチコネクタに接続します。

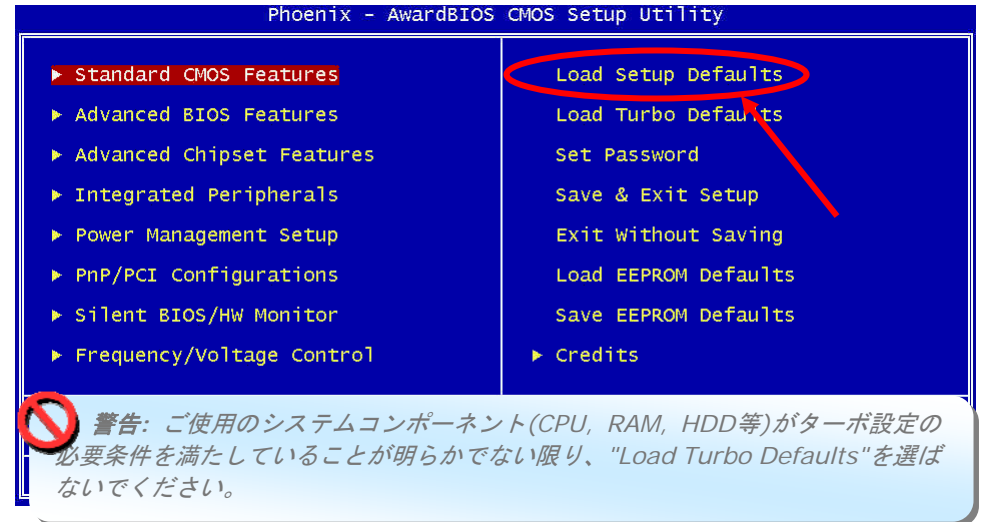


当マザーボードには上図のように 20 ピンおよび 4 ピンの ATX 電源コネクタが使用されています。挿し込む際は向きにご注意ください。20 ピン ATX 電源コネクタより先に 4 ピン 12V ATX コネクタを接続することを強くお勧めします。

7. 電源オンおよび BIOS 設定のロード

Del

ジャンパ設定およびケーブルの接続を終了したら、電源をオンにし、BIOS セットアップに入ります。これには POST (電源オン時のセルフテスト)中にキーを押します。“Load Setup Defaults”を選ぶと、推奨される最適な性能に設定されます。



8. AOpen ボーナスパック CD および EzInstall

ボーナス CD ディスクのオートランメニューがご使用いただけます。左側のアイコンからユーティリティやドライバを選び、“GO”ボタンを押せば、インストールは最後まで自動的に行われます。



CPU 電圧およびクロックの設定

CPU コア電圧の設定

当マザーボードは電圧 ID (VID)機能で、電源オン時に CPU 電圧の自動検出が可能です。CPU コア電圧の設定は不要です。

CPU クロックの設定

当マザーボードは CPU ジャンパレス設計なので、CPU クロック設定は BIOS の 1MHz ステップ CPU オーバークロック機能から行います。CPU コアクロック = CPU エクスターナル フリクエンシー × CPU レシオ。ただし、現在市場に流通する CPU は"倍率固定"、すなわちユーザーによる CPU レシオは調節不可能で、オーバークロックには CPU FSB クロックのみが調節可能です。

(オーバークロックは自己責任の元行なって頂きますようにお願いします。)

BIOS Setup > Frequency / Voltage Control > CPU Bus Frequency

CPUレシオ	4x, 5x... 17x, 18x, 20x
CPU FSB (マニュアル調節)	FSB = 400MHz - 533MHz、1MHzステップ CPUオーバークロックによる

プロセッサ 番号	アーキテクチャ	クロック	フロント サイドバス	キャッシュ	レシオ
Pentium M 770	90nm	2.13GHz	533MHz	2MB L2	16x
Pentium M 760	90nm	2.00GHz	533MHz	2MB L2	15x
Pentium M 750	90nm	1.86GHz	533MHz	2MB L2	14x
Pentium M 740	90nm	1.73GHz	533MHz	2MB L2	13x
Pentium M 730	90nm	1.60GHz	533MHz	2MB L2	12x
Pentium M 765	90nm	2.10GHz	400MHz	2MB L2	21x
Pentium M 755	90nm	2.00GHz	400MHz	2MB L2	20x
Pentium M 745	90nm	1.80GHz	400MHz	2MB L2	18x
Pentium M 735	90nm	1.70GHz	400MHz	2MB L2	17x
Pentium M 725	90nm	1.60GHz	400MHz	2MB L2	16x
Pentium M 715	90nm	1.50GHz	400MHz	2MB L2	15x
Pentium M 705	130nm	1.50GHz	400MHz	1MB L2	15x
Celeron M 370	90nm	1.50GHz	400MHz	1MB L2	15x
Celeron M 360	90nm	1.40GHz	400MHz	1MB L2	14x
Celeron M 350	90nm	1.30GHz	400MHz	1MB L2	13x
Celeron M 340	130nm	1.50GHz	400MHz	512KB L2	15x
Celeron M 330	130nm	1.40GHz	400MHz	512KB L2	15x

メモ: CPU クロックは頻繁に変更されています。当インストールガイドを入手された時点でも、より高速の CPU が市場に出回っているかもしれません。この一覧表はユーザー皆様の参照用です。



ヒント: オーバークロックに失敗した場合は下記の方法をとってください:

1. CMOSクリア (JP14)により、デフォルト設定に戻します。
2. 電源オン後、すぐ"Home"キーを押して画面が表示されるのを待ちます。



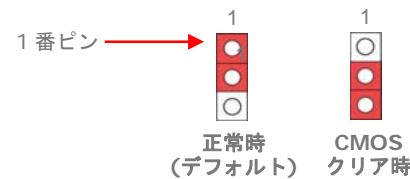
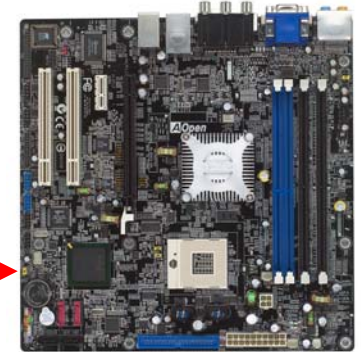
警告: Intel 915GMチップセットは最大533MHz (133MHz*4)システムバスをサポートしています。より高速の設定はシステムに重大な損傷を与える可能性があります。

JP14 による CMOS のクリア

CMOS をクリアすると、システムをデフォルト設定値に戻せます。以下の方法で CMOS をクリアします。

1. システムをオフにし、AC コードを抜きます。
2. コネクタ PWR2 から ATX 電源ケーブルを外します。
3. JP14 の位置を確認し、2-3 番ピンを数秒間ショートさせます。
4. JP14 を通常動作時の 1-2 ピン接続に戻します。
5. ATX 電源ケーブルをコネクタ PWR2 に挿します。

JP14 Clear CMOS Jumper



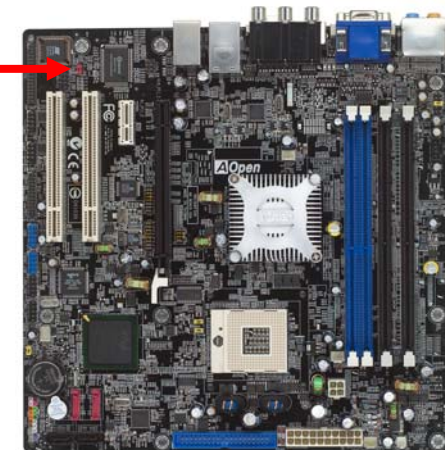
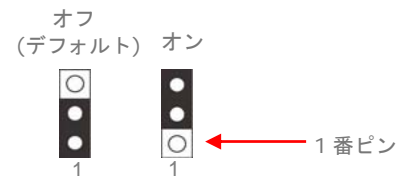
ヒント: CMOS クリアが必要な場合は?

1. オーバークロック時の起動失敗...
2. パスワードを忘れた...
3. トラブルシューティング...

JP28 キーボード/マウスウェイクアップジャンパ

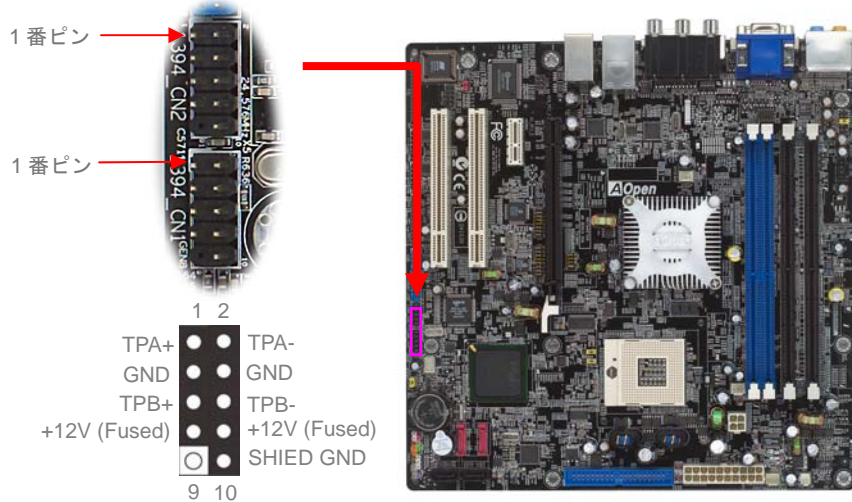
当マザーボードにはキーボード/マウスウェイクアップ機能が装備されています。接続されている USB キーボードやマウスの動きでシステムがサスペンド状態からレジュームする機能のオン/オフには JP28 を使用します。工場デフォルト設定は"オフ"(1-2)ですが、ジャンパ位置を 2-3 にすることで、この機能がオンになります。

JP28 PS2 KB/Mouse Wakeup Jumper



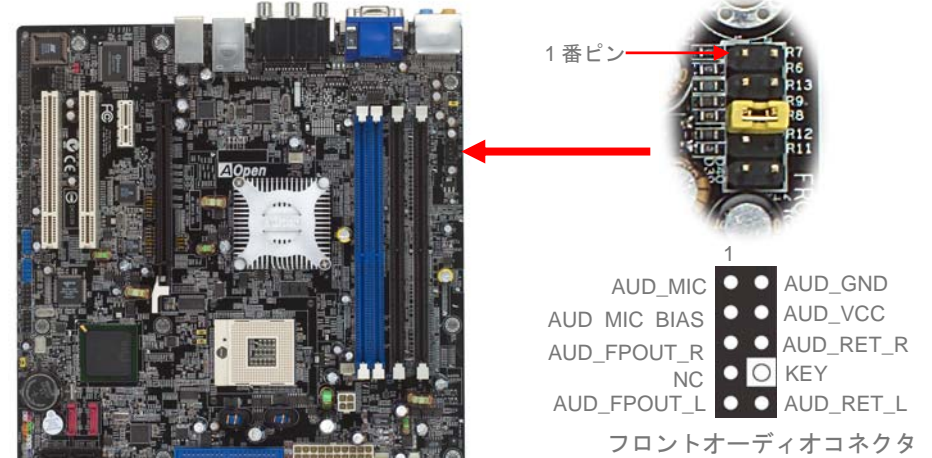
IEEE 1394 コネクタ

オンボードのIEEE1394 チップ(AGERE 1394)により、データ転送速度は最大 400Mb/s を実現します。このためIEEE 1394 インタフェースはデジタルカメラ、スキャナー、その他IEEE 1394 装置など高速データ転送性能を必要とするデバイスの接続に使用できます。IEEE1394 デバイスへの接続には適切なケーブルをご使用ください。



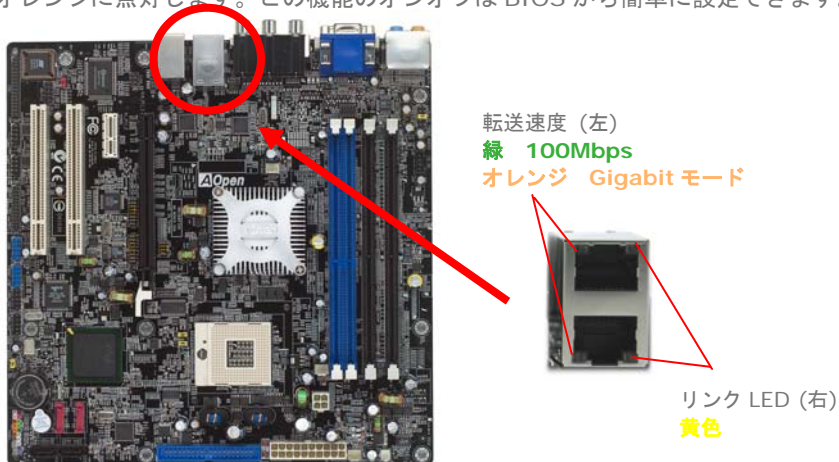
フロントオーディオコネクタ

筐体のフロントパネルにオーディオポートが装備されている場合、オンボードオーディオからこのコネクタを通してフロントパネルに接続できます。なお、ケーブルを接続する前にフロントパネルオーディオコネクタから5-6番ピンおよび9-10番ピンのジャンパキャップを外してください。フロントパネルにオーディオポートがない場合は、5-6番ピンおよび9-10番ピンの黄色いジャンパキャップを外さないでください。



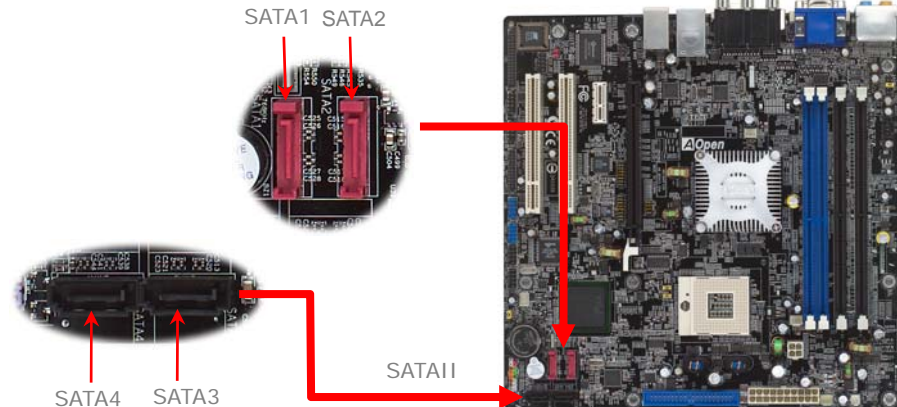
オンボードデュアル Gigabit LAN

オンボードの Gigabit LAN コントローラにより、当マザーボードでは 10/100/1000Mbps イーサネットがオフィスやホームユースで利用可能です。イーサネット用 RJ45 コネクタは USB コネクタ上部に位置します。右側の LED はリンクモード表示で、ネットワークにリンクしていると黄色に点灯します。左側の LED は接続速度モードで、100Mbps LAN 接続中はグリーンに点灯します。(10Mbps 接続では点灯しません)。一方ギガビット LAN 接続ではオレンジに点灯します。この機能のオンオフは BIOS から簡単に設定できます。



Serial ATA コネクタ

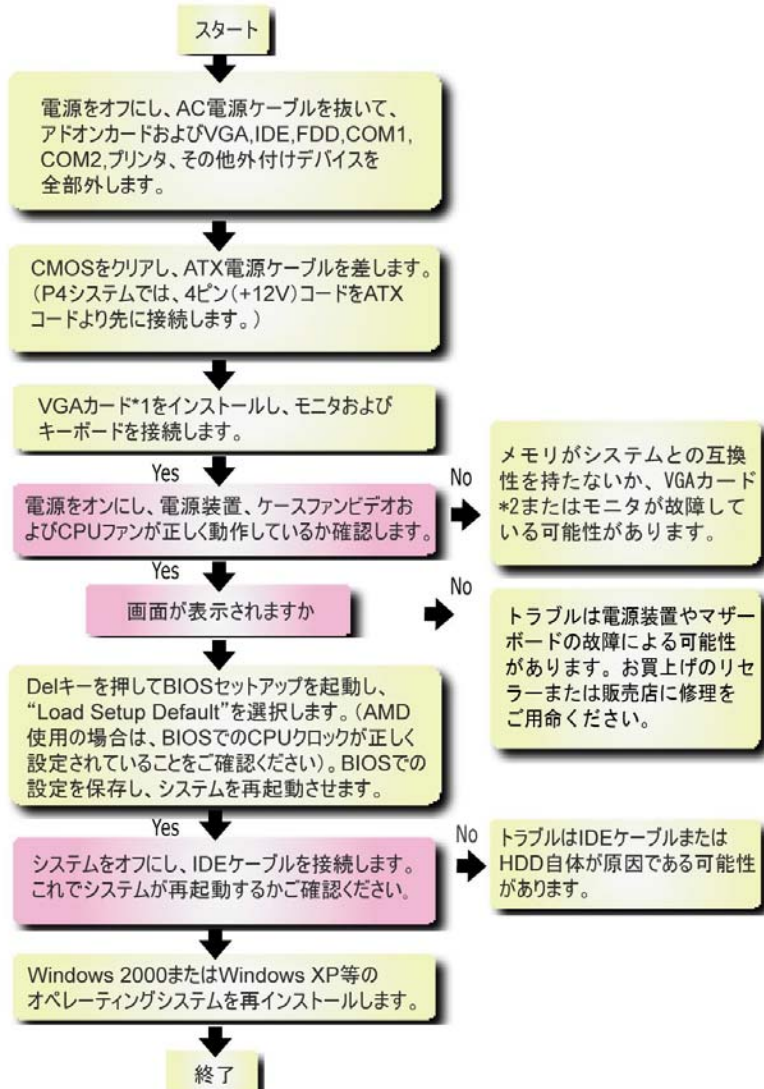
Serial ATAディスクを接続するには、7ピンSerial ATAケーブルが必要です。Serial ATAケーブルでマザーボードのSerial ATAヘッダとディスクをつなぎます。従来のディスクと同様、電源ケーブルも接続する必要があります。ここでジャンパ設定は不要であることにご注意ください。ディスクをマスターやスレーブにジャンパ設定する必要はありません。Serial ATAハードディスクをSerial ATAポートにインストールする際は、ポート0 (SATA1) にインストールされたディスクが自動的に起動用ディスクに設定されます。ここでホットプラグ機能はサポートされていない点にご注意ください。





トラブルシューティング

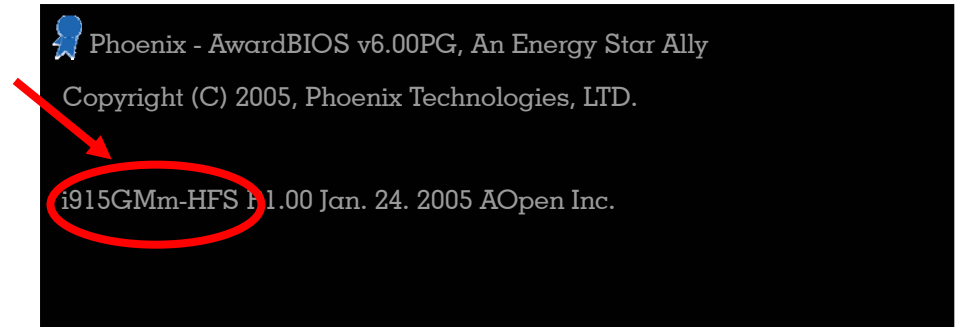
システムのブートに関係したトラブルが起きたなら、問題を解決するために以下の手順に従ってください。



*1 ご使用のモニタがオンボードVGAポートに接続されている場合、VGAカードのインストールは不要です。
 *2 オンボードVGAポートに接続して画面が表示されない場合は、オンボードVGAデバイスに問題がある可能性があります。

モデル名と BIOS バージョン

モデル名と BIOS バージョンはブートの最初の画面(POST 画面)の上部左に現れます。例えば：



i915GMm-HFS はマザーボードのモデル名で、R1.00はBIOSバージョンです。

Phoenix-Award BIOS エラーメッセージ

エラー音	メッセージ
1 回短く (・)	システムのブートが正常
2 回短く (・・)	BIOS設定エラー
1 回長く - 1 回短く (-・)	メモリエラー
1 回長く - 2 回短く (-・・)	AGPエラー (VGAカードかモニターの接続エラー)
1 回長く - 3 回短く (-・・・)	VGAカードエラー (オンボードVGA利用時はメモリエラー含む)
長いエラー音が継続 (- - - -)	メモリエラー (メモリが正しく装着されていない、正しく認識していない)



テクニカルサポート

お客様各位

この度はAOpen製品をお選びくださりありがとうございます。今後の良質なサービスを保証するClub AOpenのゴールド会員になるために<http://www.aopen.com>で登録くださるようお勧めいたします。お客様各位への最良のサービスを維持できるよう、下記の手順に従い、皆様がお買い求めになった地域に従って、各地の支店からサービスをお受けになるようお願い致します。皆様のご協力によって、全てのお客様への効果的で最良のサービスを提供し続けてまいります。

ご理解に厚く感謝致します。

ヨーロッパ

AOpen Computer b.v.
Tel: 31-73-645-9516
Email: Support@AOpen.NL

中国

艾爾鵬國際貿易(上海)有限公司
Tel: 86-21-6225-8622
Fax: 86-21-6225-7926

アメリカ

AOpen America Inc.
Tel: 1-510-489-8928
Fax: 1-510-489-1998

ドイツ

AOpen Computer GmbH.
Tel: 49-2131-1243-710
Fax: 49-2131-1243-999

環太平洋地域

AOpen Inc.
Tel: 886-2-3789-5888
Fax: 886-2-3789-5899

日本

AOpen Japan Inc.
Tel: 81-048-290-1800
Fax: 81-048-290-1820

ヨーロッパ	Email: Support@AOpen.NL
環太平洋	http://www.aopen.com.tw/tech/default.htm
中国	http://www.aopen.com.cn/tech/default.htm
ドイツ	http://www.aopencom.de/tech/default.htm
アメリカ	http://usa.aopen.com/tech/default.htm
日本	http://aopen.jp/tech/index.html

オンラインマニュアル：マニュアルをダウンロードするには、まずログオンし必要な言語を指定します。“Type”のディレクトリから“Manuals”を選んで、マニュアルデータベースにアクセスします。マニュアルおよびイージーインストールガイドはAOpenボーナスバックCDにも収録されています。

<http://download.aopen.com.tw/downloads>

テストレポート：PC組立てには、互換性テストレポートからboard/card/deviceの部分をご覧になることをお勧めします。これで互換性に関するトラブルを解決できるかもしれません。

<http://aopen.jp/tech/report/index.html>

FAQ：ユーザーがよく直面する問題やFAQ（よく尋ねられる質問）が列挙されています。ログオンし必要な言語を指定してから問題の解決方法を見えます。

<http://aopen.jp/tech/faq/index.html>

ソフトウェアのダウンロード：ログオンして必要な言語を指定した後、“Type”のディレクトリからアップデートされた最新のBIOSまたはユーティリティ、ドライバをダウンロードしてみます。大半の場合、最近のバージョンのドライバやBIOSにより、バグや互換性の問題が解決されます。

<http://download.aopen.com.tw/downloads>

eForum：AOpen eForumは当社製品に関して他のユーザーと討論する場所で、ユーザーの問題が以前に取り上げられたか以後答えを得られる可能性があります。ログオンしてから“Multi-language”で必要な言語を指定します。

<http://club.aopen.com.tw/forum/>

当社へのご連絡：ご連絡に先立ち、システム設定の詳細情報およびエラー状況をご確認ください。パーツ番号、シリアル番号、BIOSバージョンも大変参考になります。

販売店、リセラーへのご連絡：当社は製品をリセラーおよびシステム設計会社を通して販売しております。ユーザーのシステム設定に関して熟知しており、お持ちの問題の解決方法または重要な参考情報が提供される可能性があります。